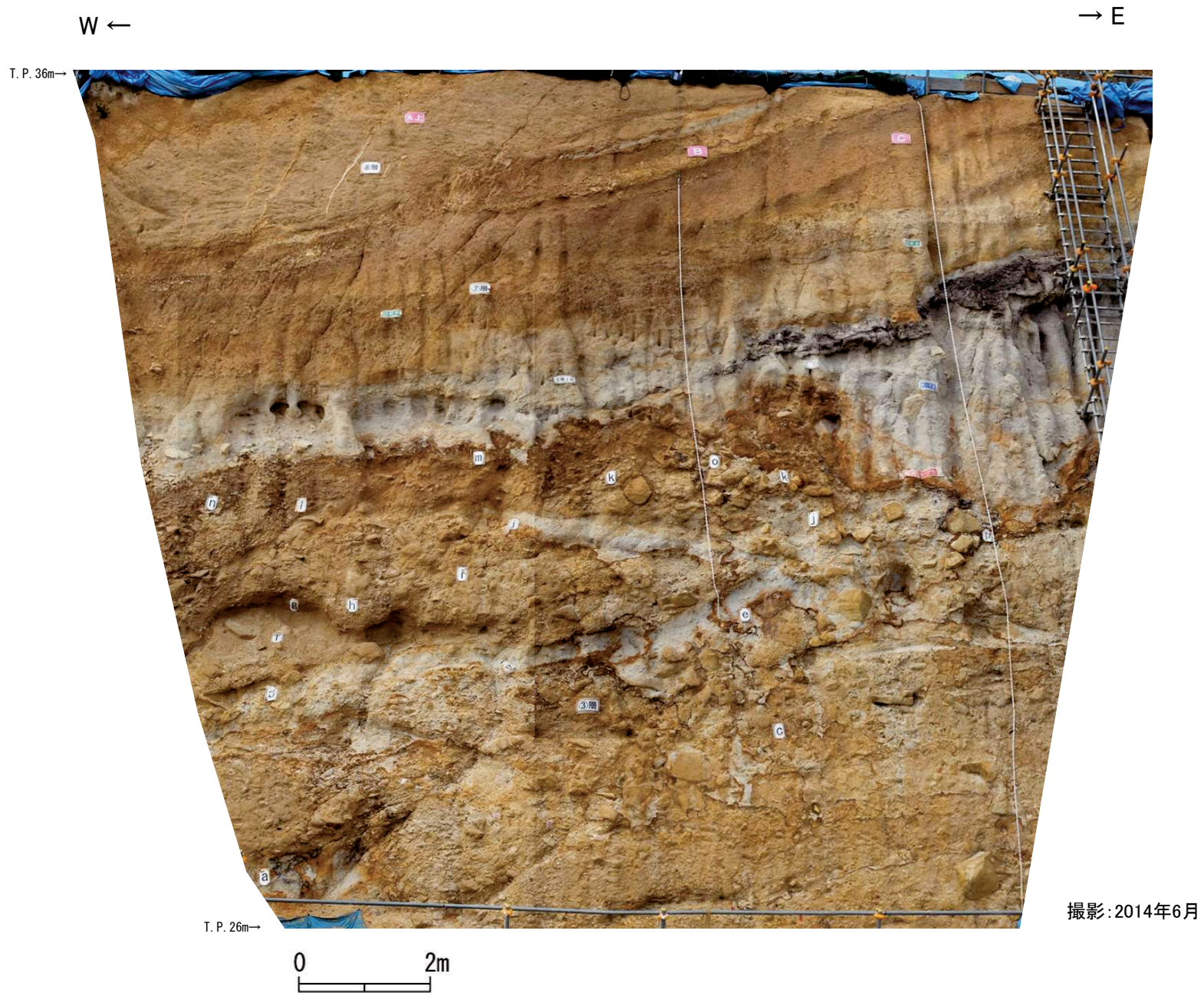


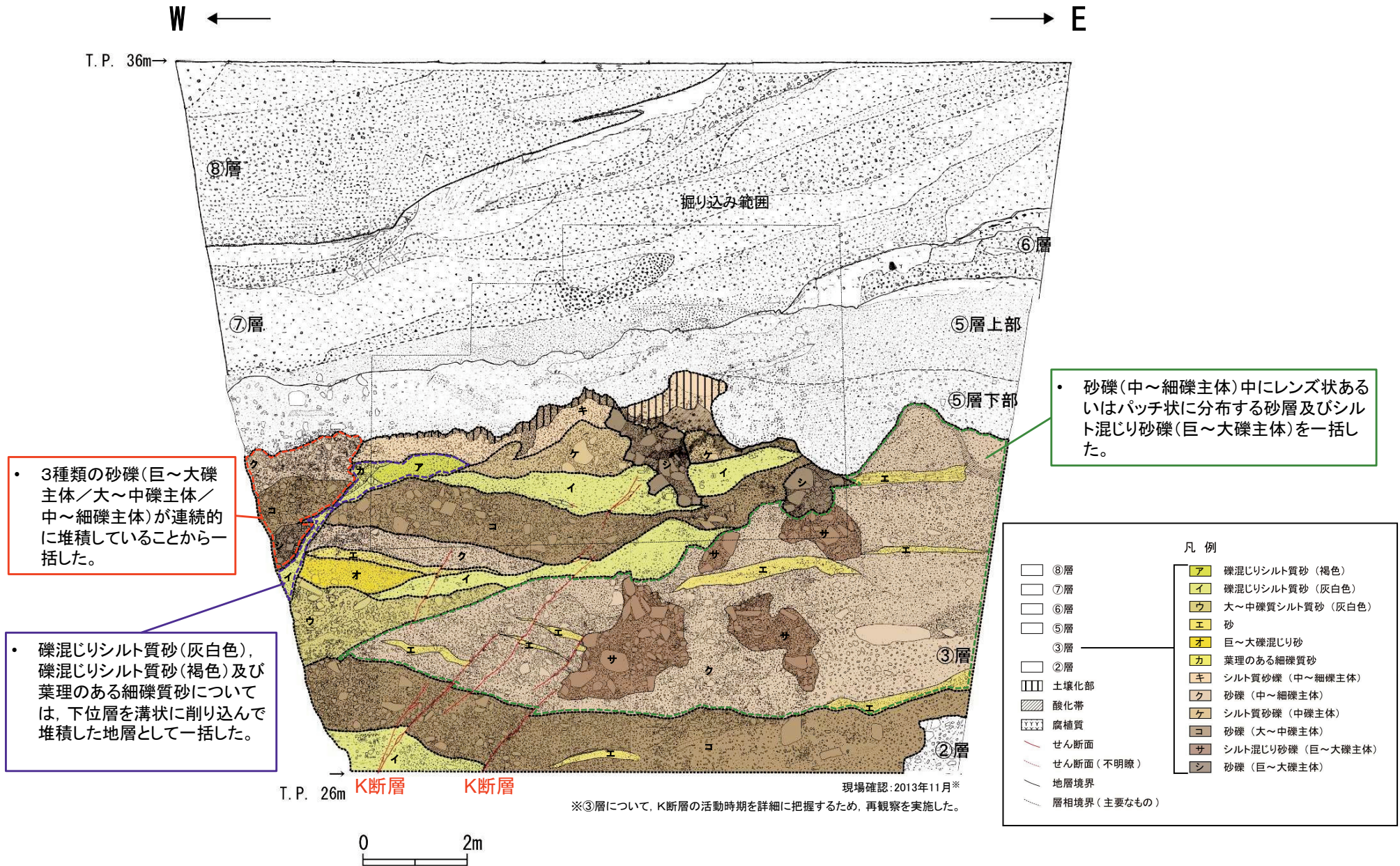
### 2.3.1 活動性評価(北西法面) ③層の層相区分 (D-1トレンチ北西法面(その2))



### 2.3.1 活動性評価(北西法面) ③層の層相区分 (D-1トレンチ北西法面(その3))

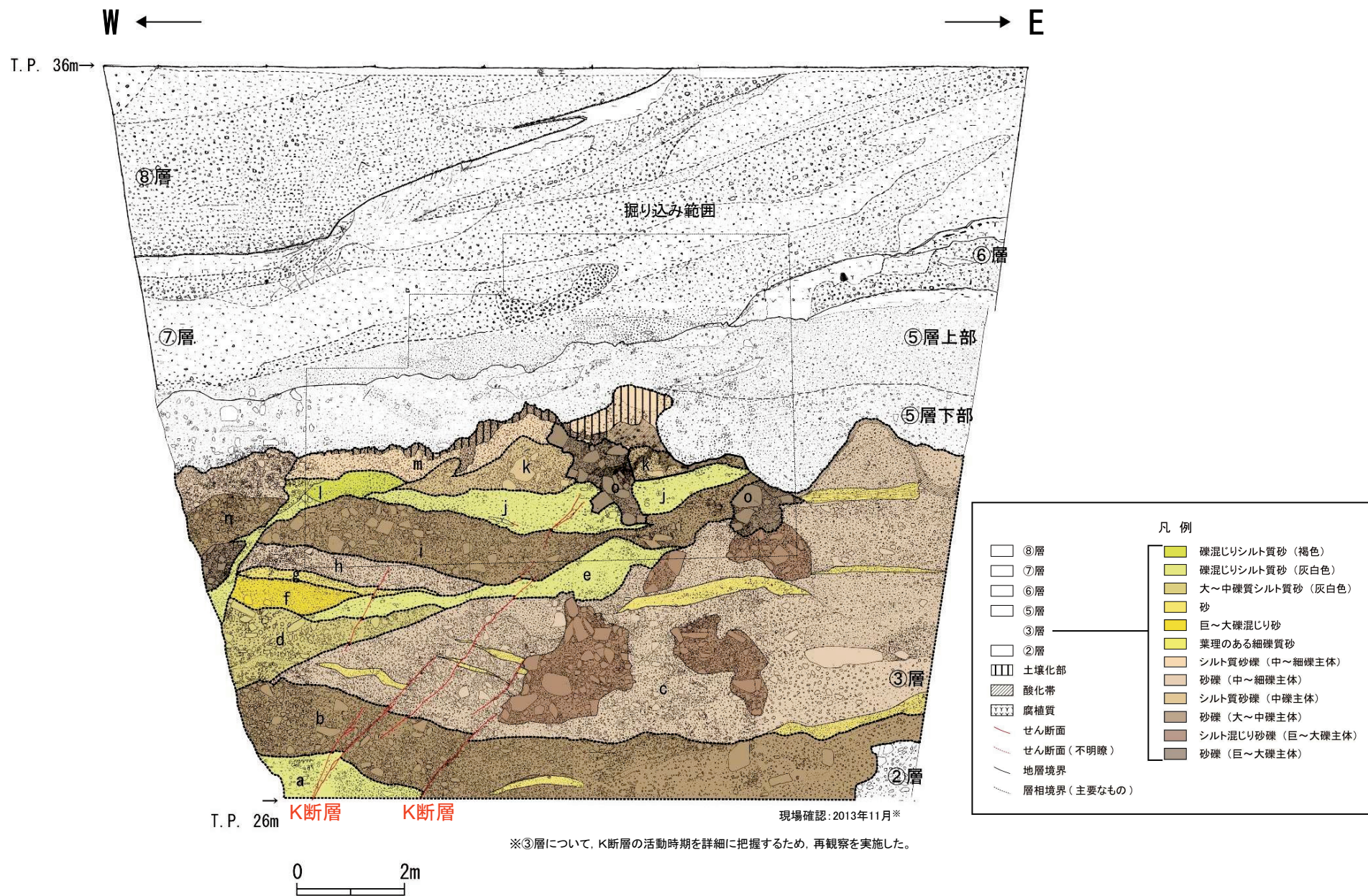
令和5年10月6日  
提出資料 修正

- 岩相区分により単層毎に区分したもののうち、**連続的に堆積している地層等を一つの地層として扱うこととし、地層区分を行った。**
- K断層の活動性評価を行うため、K断層による変位・変形を詳細に確認する必要がある地層については単層のままとした。



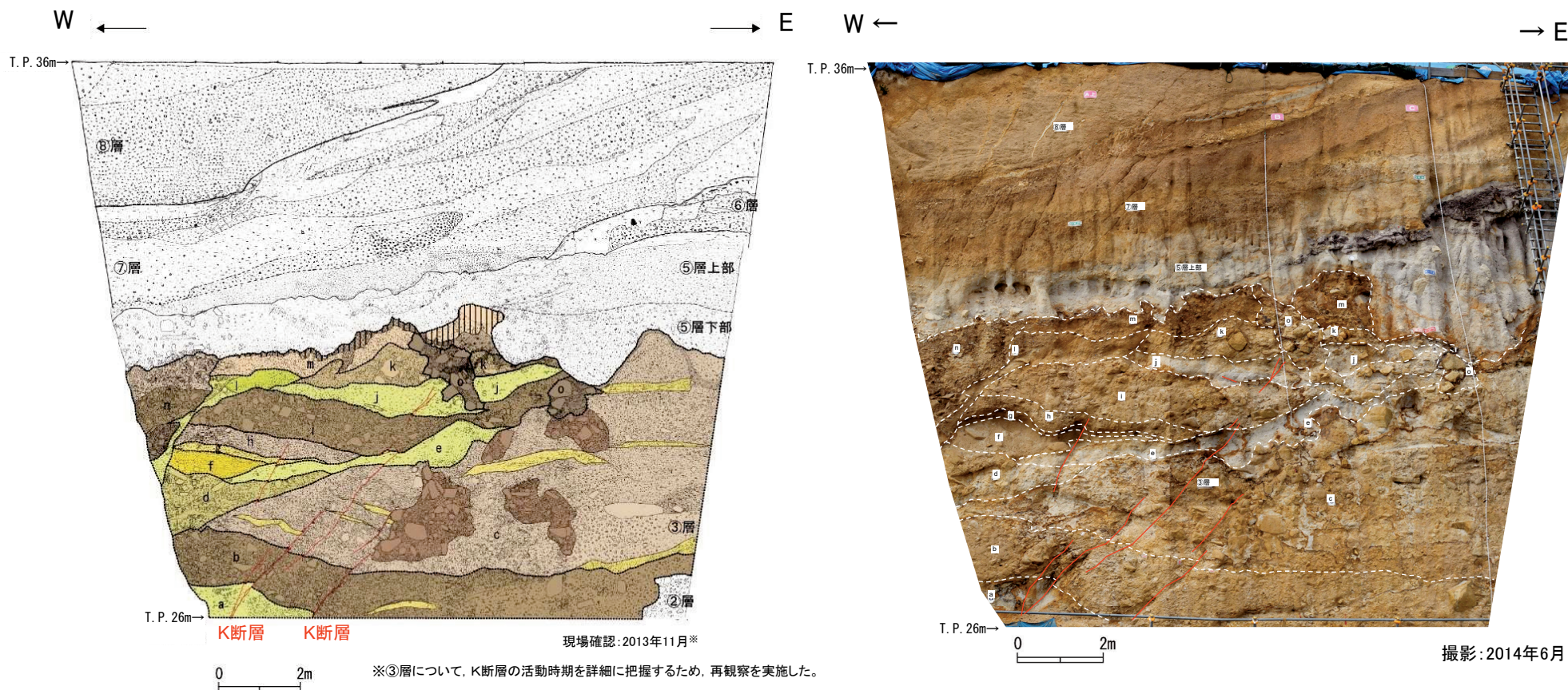
## 2.3.1 活動性評価(北西法面) ③層の層相区分 (D-1トレンチ北西法面(その4))

- 岩相区分の結果から北西法面の地層を、下位よりa層～o層に区分した。
- 以上のとおり、③層の詳細な地層区分については、岩相によって区分したものであり、この地層区分に基づきK断層による変位・変形が及んでいる範囲を検討することは妥当であると判断され、K断層による変位・変形が及んでいる範囲はj層までであり、k層には変位・変形が及んでいないことが確認された。



## 2.3.1 活動性評価(北西法面) ③層の層相区分 (D-1トレンチ北西法面(その5))

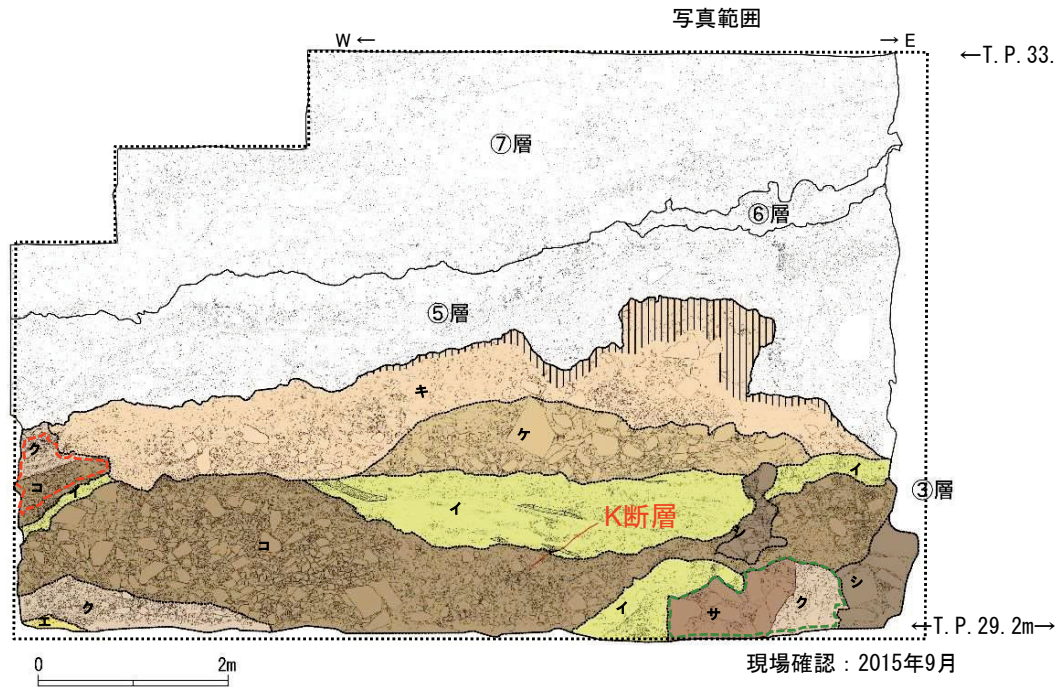
- 岩相区分の結果から北西法面の③層を, 下位よりa層~o層に区分したスケッチと, 岩相区分の解釈線を追記した全景写真を示す。



凡例	
⑧層	凝混じりシルト質砂 (褐色)
⑦層	凝混じりシルト質砂 (灰白色)
⑥層	大~中粒質シルト質砂 (灰白色)
⑤層	砂
⑤層上部	巨~大粒混じり砂
⑤層下部	裏理のある細粒質砂
③層	シルト質砂礫 (中~粗粒主体)
②層	シルト質砂礫 (中~粗粒主体)
土壌化部	砂礫 (中~細粒主体)
酸化帯	砂礫 (大~中粒主体)
腐植質	シルト混じり砂礫 (巨~大粒主体)
せん断面	砂礫 (巨~大粒主体)
せん断面 (不明線)	
地層境界	
層相境界 (主要なもの)	

### 2.3.1 活動性評価(北西法面) ③層の層相区分 (D-1トレンチ北西法面 掘り込み後(その1))

- K断層を覆うk層等の分布状況をより明確にするため、観察法面を奥行方向にさらに掘削し、観察を行った。
- D-1トレンチの③層のうちK断層近傍については、K断層の変位・変形が及んでいる範囲を詳細に検討するため③層を詳細に区分した。
- この細区分については、観察によって確認した**礫率、礫径、堆積構造及び色調に着目した岩相区分**により単層毎に区分した。



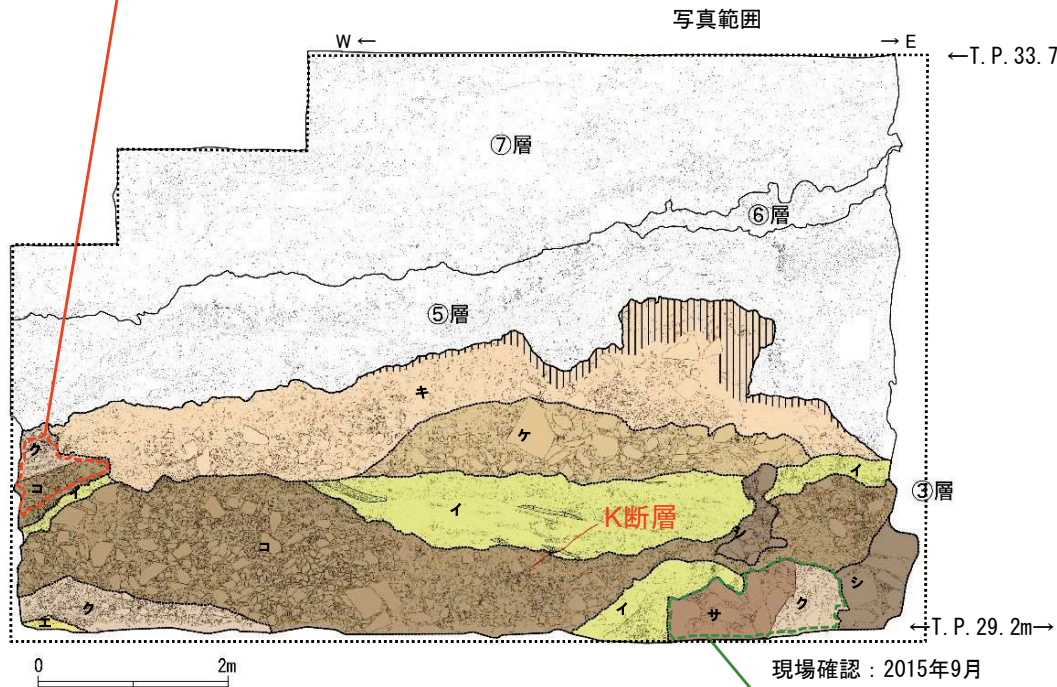
撮影: 2017年3月

凡例	
□ ⑦層	イ 礫混じりシルト質砂 (灰白色)
□ ⑥層	エ 砂
□ ⑤層	キ シルト質砂礫 (中～細礫主体)
□ ③層	ク 砂礫 (中～細礫主体)
土壌化部	ケ シルト質砂礫 (中礫主体)
~~~~ 腐植質	コ 砂礫 (大～中礫主体)
— せん断面	サ シルト混じり砂礫 (巨～大礫主体)
— 地層境界	シ 砂礫 (巨～大礫主体)
- - - 層相境界 (主要なもの)	

## 2.3.1 活動性評価(北西法面) ③層の層相区分 (D-1トレンチ北西法面 掘り込み後(その2))

- 岩相区分から単層毎に区分したもののうち、単層が独立した地層をなすものはそのままし、**単層の組み合わせ及び連続的な堆積関係にある一部の地層について一つの地層と扱うこととした。**

2種類の砂礫(大～中礫主体/中～細礫主体)が連続的に堆積していることから一つの地層と扱うこととした。



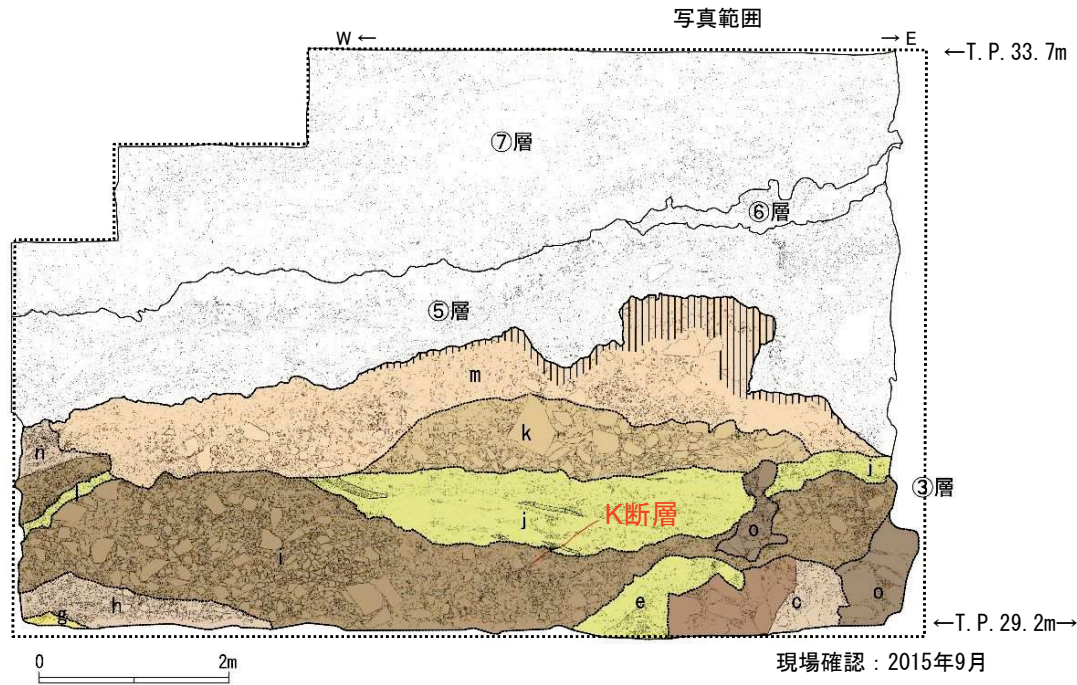
撮影: 2017年3月

砂礫(中～細礫主体)及びシルト混じり砂礫(巨～大礫主体)については、同時期に堆積したものであることから一つの地層と扱うこととした。

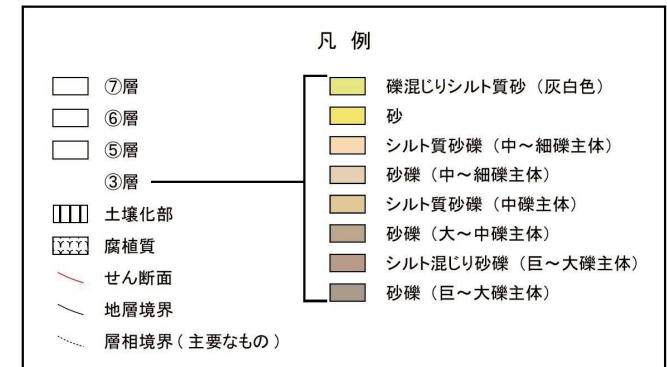
凡例	
□ ⑦層	イ 礫混じりシルト質砂 (灰白色)
□ ⑥層	エ 砂
□ ⑤層	キ シルト質砂礫 (中～細礫主体)
□ ③層	ク 砂礫 (中～細礫主体)
土壌化部	ケ シルト質砂礫 (中礫主体)
腐植質	コ 砂礫 (大～中礫主体)
— せん断面	サ シルト混じり砂礫 (巨～大礫主体)
— 地層境界	シ 砂礫 (巨～大礫主体)
— 層相境界 (主要なもの)	

## 2.3.1 活動性評価(北西法面) ③層の層相区分 (D-1トレンチ北西法面 掘り込み後(その3))

- 岩相区分の結果から掘り込み範囲をc層, e層, g層~o層の地層に区分した。
- 掘り込み後の観察結果から, k層をチャンネル状に削り堆積しているo層の分布範囲は狭小となり, j層とk層との傾斜不整合関係やk層基底の水平性がより明瞭となった。



撮影: 2017年3月



### 2.3.1 活動性評価(北西法面) ③層の層相区分 (D-1トレンチ北西法面 掘り込み後(その4))

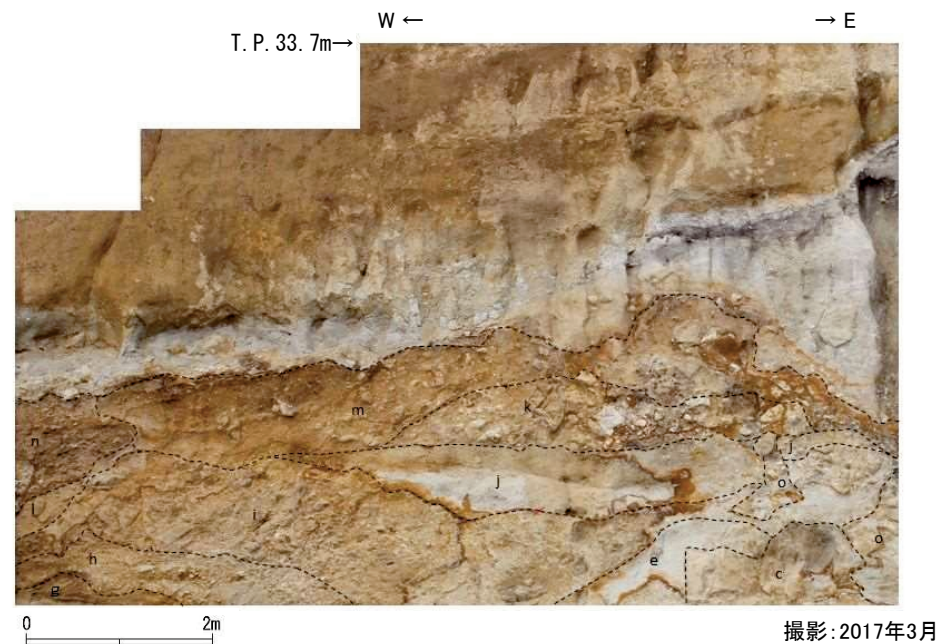
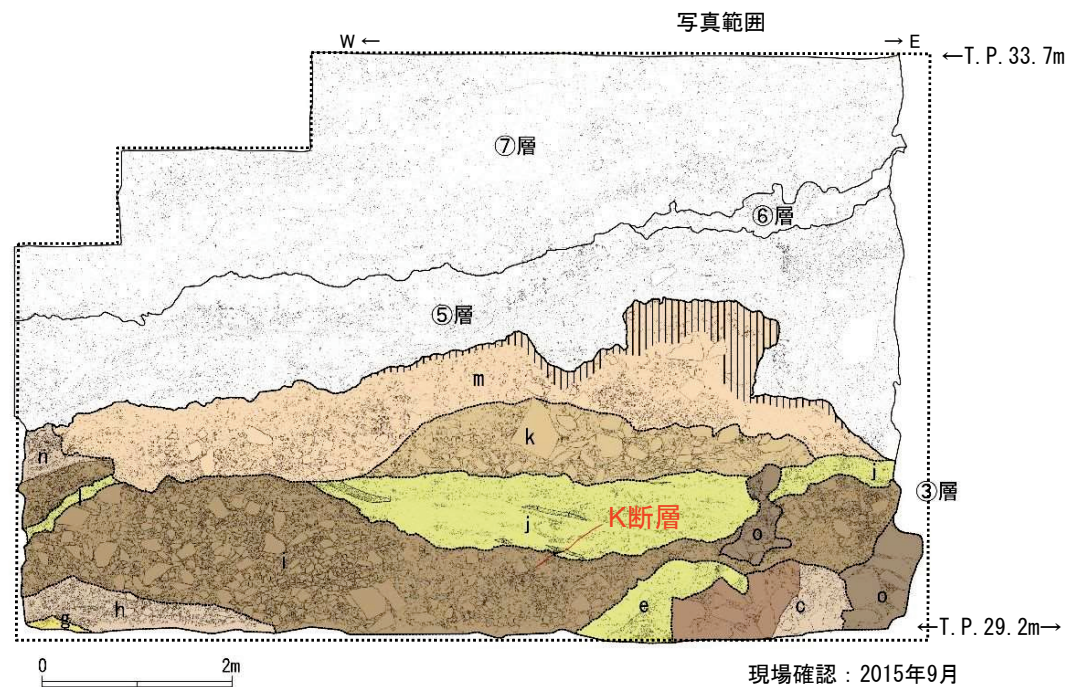


撮影:2017年3月



## 2.3.1 活動性評価(北西法面) ③層の層相区分 (D-1トレンチ北西法面 掘り込み後(その5))

- 岩相区分の結果から北西法面を奥方向に掘り込んだ範囲の③層を区分したスケッチと、岩相区分の解釈線を追記した全景写真を示す。



凡例	
□ ⑦層	■ 礫混じりシルト質砂 (灰白色)
□ ⑥層	■ 砂
□ ⑤層	■ シルト質砂礫 (中～細礫主体)
□ ③層	■ 砂礫 (中～細礫主体)
▨ 土壌化部	■ シルト質砂礫 (中礫主体)
▨ 腐植質	■ 砂礫 (大～中礫主体)
— せん断面	■ シルト混じり砂礫 (巨～大礫主体)
— 地層境界	■ 砂礫 (巨～大礫主体)
- - - 層相境界 (主要なもの)	